事業団からのお知らせ

Vol. 14（令和7年8月）

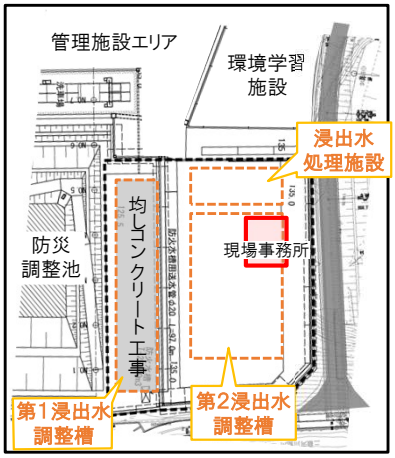
新産業廃棄物最終処分場の名称を「**エコみらいひたち**」に決定しました。環境や豊かな自然との調和を図りながら、未来にわたって社会や地域に貢献していく施設を目指すという想いを込めております。

引き続き安全安心を第一に工事を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

浸出水処理施設の整備に着手

浸出水処理施設は、埋立地内から発生する浸出水（廃棄物に触れた雨水）を一時的に調整槽で貯留し、水質浄化を行う施設です。調整槽は、第1浸出水調整槽が約10,000㎥、第2浸出水調整槽が約18,000㎥の貯留容量となっています。

現在は、エリア全体の造成工事が完了し、第1浸出水調整槽は底盤を平らにするためのコンクリート工事まで終了しています。また、現地に現場事務所を設置し、作業員の休憩所や打合せスペースを設けています。



＜第1浸出水調整槽の均しコンクリート工事＞

＜現場事務所を設置＞

【お問い合わせについて】

担　当：一般財団法人　茨城県環境保全事業団　新最終処分場整備日立事務所
電　話：0294-33-8731　E-mail：seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ（https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info）
又は二次元コードからご確認いただけます。

現場だより

茨城県議会の現地視察

8月8日、茨城県議会防災環境産業委員会による県内調査が実施されました。

工事状況や安全対策について説明し、現地視察が行われました。

また、視察後、処分場の遮水構造や環境モニタリング結果などに関する質疑応答が行われました。

緊急時への対応

工事現場内の安全管理と冬季における周辺道路の凍結等に備えるため、現場内に倉庫を設置して緊急資材を常時保管しており、緊急時に迅速に対応できる体制を整えています。

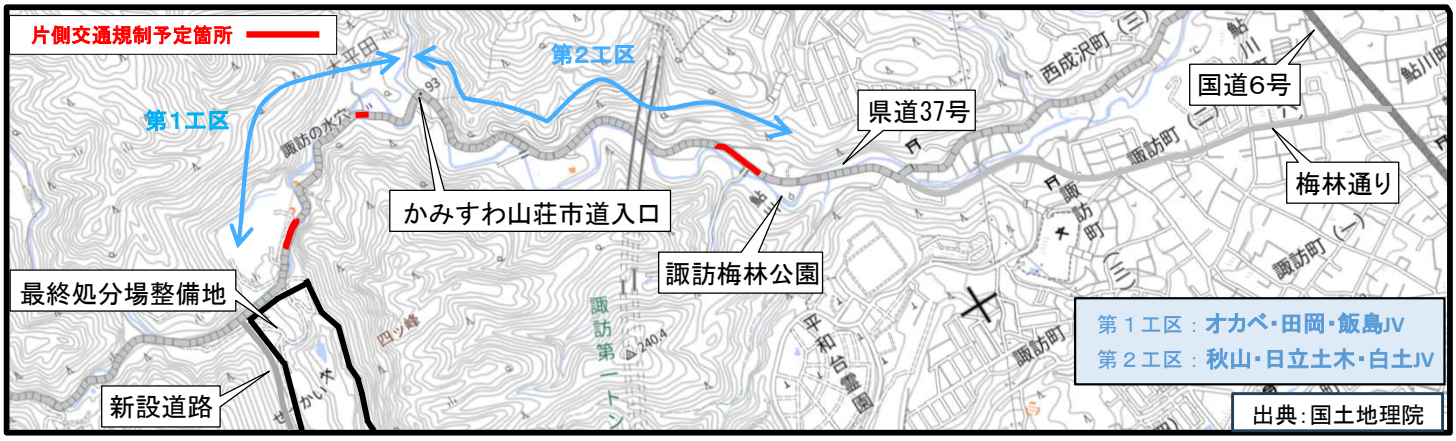
＜緊急資材＞

スコップ、ゴムレーキ、ブラシ、カラーコーン、耐候性大型土のう、ブルーシート、ポンプ、融雪剤　ほか

大型土のう

緊急資材倉庫

上下水道工事に伴う交通規制予定箇所（９月）



処分場建設工事中の環境モニタリング

- **大気質（6月測定）**
  工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準値未満でした。
- **騒音・振動（6月測定）**
  工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準値未満でした。
- **水質（6月測定）**
  工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準値未満でした。
- **地下水（6月測定）**
  工事の影響はほとんどないことを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。

処分場建設工事中の環境モニタリング結果

処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点